

# 海苔が なくなる日...

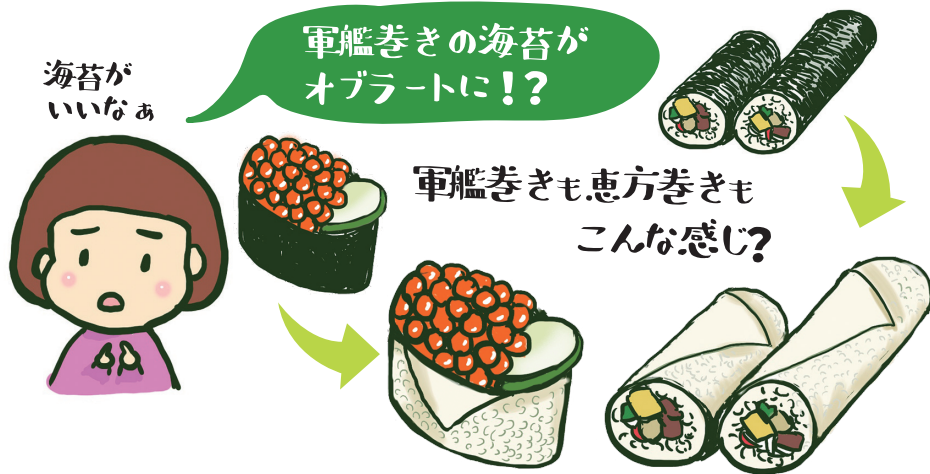
JAPANESE SOUL FOOD  
NORIMAKI  
ONIGIRI

JAXA(宇宙航空研究開発機構)がプロデュースする「未来レストラン いぶき」が2018年2月25日に1日限定でオープンしました。それによると、気候変動(温暖化)や異常気象により、今ある食材は取れなくなり、未来の食事がこう変わってしまうかもしれないというものでした。

なかでも、ショッキングなメニューとして、将来は海苔が取れなくなり、軍艦巻き  
の海苔はオブラートに変わるそうです。



## 将来、海苔巻おにぎりが 食べられなくなるかもしれない!



日本人は、おにぎりや軍艦巻など、日本の食文化の象徴である板海苔※1を利用する機会が多いですが、その原料である海藻が取れなくなるという未来が突きつけられたのです。

※1昔、板海苔の原料は、アサクサノリやアオサノリでした。しかし、最近では、アサクサノリやアオサノリが希少のため、スサビノリが主になっていますが、スサビノリも生産量が減少傾向です。本学では希少となった原因を調査し、将来も海苔を安全に食べることができるための研究をしています。

大丈夫です!  
私たちがなんとか  
できそうです。

徳島文理大学では  
これからもずっと  
海苔を食べ続けるための  
研究をしています!

裏面で詳しく  
お話をしますね。



よかった!  
これからも  
海苔巻おにぎり  
食べれるのね!



平成 29 年度の文部科学省私立大学研究ブランディング事業に選定されました  
藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション

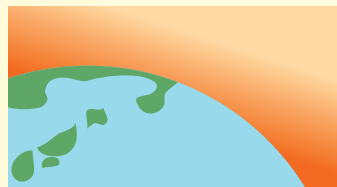
# 徳島文理大学ではこれからもずっと 海苔を食べ続けるための研究をしています!

平成29年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業選定

## 藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション

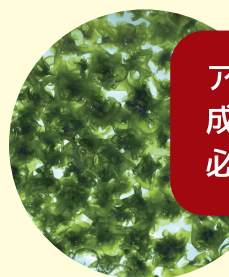
大学発ブランド海藻の生産・通年陸上養殖システムの開発・伝統的な沿岸網養殖への応用・新たな藻類成長因子の探索とその活用等を通じて、地域水産業の発展に貢献します。

地球温暖化により  
海藻の生産量が減少

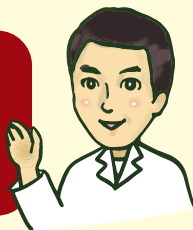


海藻が育つために、共生  
するバクテリアに注目

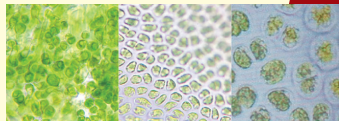
バクテリアが生産する物質  
成長因子サルーン



アオサノリの成長には  
成長因子サルーンが  
必要であることを発見!



山本准教授らのグループ



海藻の陸上養殖に  
初めて成功

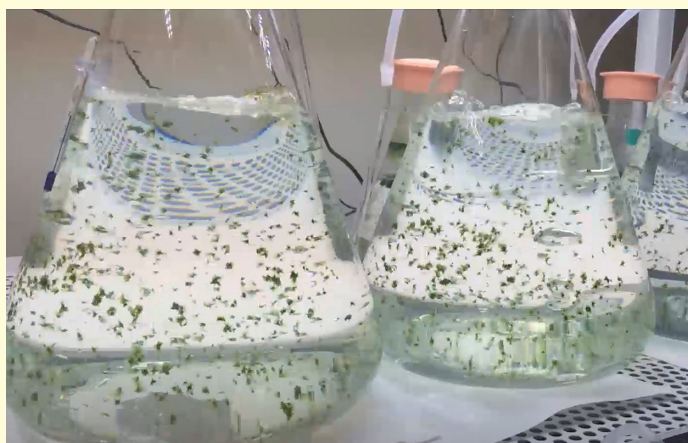
これからもずっと  
海苔がなくならない  
かも!



地球温暖化により、様々な海藻の生産量が減少しています。海藻が育つ仕組みは分かっていませんでした。本学山本准教授らのグループは、海藻に着生している、バクテリアに注目し、バクテリアが生産する物質(成長因子サルーン)がアオサノリ(ヒトエグサ)の成長に必要であることを発見しました。

さらに、成長因子サルーンを化学的に合成し、水槽内で海藻(アオサノリ)の胞子に与えることにより、これまで不可能と考えられてきたバクテリアに依存しない海藻の陸上養殖に初めて成功しました。

スケールアップなど乗り越えなければいけない壁はありますが、これにより将来も海苔を利用した食事が食べることができる可能性が出てきました。



## この研究は、徳島文理大学にある様々な学部が共同で取り組んでいます

2017年からスタートしたこの事業には薬学部・香川薬学部・人間生活学部・理工学部・総合政策学部および生薬研究所から18の研究室が参加することになりました。

薬学部・香川薬学部・生薬研究所では、保有する膨大な量の天然物由来の有用化合物を系統的に整理・保存してこの研究に活用するため、天然物ライブラリーを作る準備を進めています

さらに藻類の栄養価などの付加価値を高め、ブランド化していくために人間生活学部・総合政策学部も参加します。

本事業は、地元の重要な産業である海藻養殖業に着目し、藻類成長因子の活用によるアオサノリの陸上養殖システムの開発という新技術を核に、地域水産業の抱える課題に対して具体的な解決策を提案し、それを実現することで社会に還元することをめざしています。

徳島文理大学の科学力を結集し、地域社会に貢献する大学としてのブランド価値を高めると同時に地域産業の復活と活性化に貢献できるよう、学生と教職員が丸となって取り組んでまいります。

各学部・研究所等が取り組む研究項目	
研究項目	参加する学部・研究所等
①アオサノリなどの緑藻の効率的で安定的な通年陸上栽培システムの開発	薬学部・生薬研究所 外部協力機関
②種付け網を用いた沿岸養殖(従来法)への応用	薬学部・理工学部
③新たな藻類成長因子の探索研究	薬学部・香川薬学部 生薬研究所
④藻類の栄養価など付加価値の拡大と流通・宣伝戦略の確立	薬学部・人間生活学部 総合政策学部

資料請求 / お問い合わせ

入試広報部  0120-602455

藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション特設サイト [www.bunri-u.ac.jp/brand17/](http://www.bunri-u.ac.jp/brand17/)

Tokushima  
125th BUNRI 2020

徳島文理大学

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍 180

[www.bunri-u.ac.jp](http://www.bunri-u.ac.jp)

徳島文理大学

